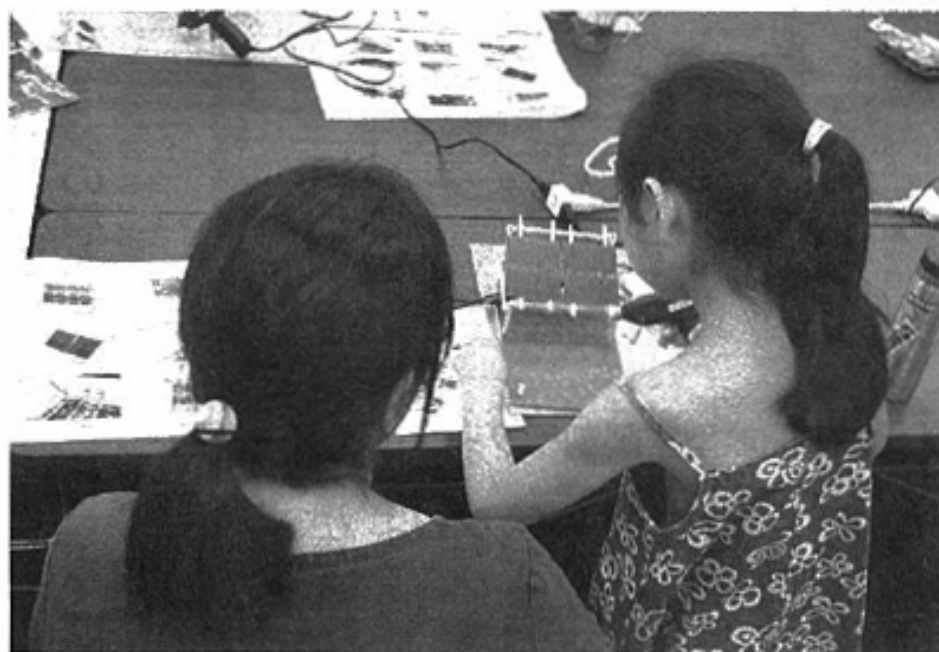


新三平建設（東京都台東区、飯田忠房社長、03・3847・3311）は、親子でモノづくりを楽しんでもらうことを目的に、夏休みエコ教室（写真）を開いた。

モノづくりを通して、環境について理解を促す企画。9回目となる今回は「プチメガソーラー」の製作を行い、台東区内の20人の親子が参加した。

発光ダイオード（LED）の電灯を光らすことができるソーラーパネルを組み立て、

夏休みの工作できた！



新三平建設がエコ教室

資料には「垂木」「棟木」など部材の名前や役割を紹介。建築用語を知ってもらおうという工夫もされた。

参加の親子は自由研究など理由はさまざま。小学2年生の娘と参加した40代・会社員の男性は「ソーラーの仕組みを言葉でしか説明することができなかったが、実際に作ることで技術を概念的にでも理解してもらいたいと思った」と話す。企画に子どもたちの成長を大きく期待する参加者もいた。